

# 広川町立図書館へ行こう!

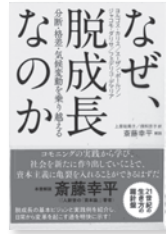
〒0943-32-1163 町立図書館 ☎ 0943-32-1163



## ■今月のおすすめの本



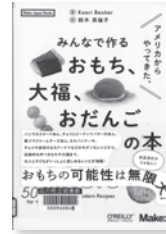
哲学の女王たち  
レベッカ・バクストン / 編  
晶文社



なぜ、脱成長なのか  
ヨルゴス・カリス / 著  
NHK 出版



もっとディープに!  
カラス学  
杉田昭栄 / 著  
緑書房



みんなで作るおもち、  
大福、おだんごの本  
Kaori Becker / 著  
オライリー・ジャパン



名画のミステリー  
美術雑学愛好倶楽部 / 編  
天夢人



探偵になんて向いてない  
桜井鈴茂 / 著  
双葉社



医学のひよこ  
海棠尊 / 著  
KADOKAWA



たすひくねこ  
にわ / さく  
マイクロマガジン社



日曜日の王国  
日向理恵子 / 作  
PHP 研究所



おにいちゃんとぼく  
ローレンス・シメル / 文  
光村教育図書

## ■ハロウィン・ウィーク 2021

図書館にハロウィン撮影コーナーが出現! 写真を撮ってハロウィン気分を味わいましょう。詳しくは図書館などで配布しているチラシをご覧ください。

- 日時 10月26日(火)~31日(日)
- 場所 町立図書館児童コーナー「お話しの森」
- 対象 0歳児~小学生(一人1回)

※未就学児は、親子で撮影できます。  
※期間中に本を借りた対象者には、プチプレゼントがあります。  
※新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、例年行っていたハロウィン・パーティーは中止します。

## ■10月のおはなし会 [場所・読み手]

- 2日(土) 10:30~10:45 児童向け [お話しの森・きらら]
- 13日(火) 10:30~10:45 乳幼児向け「かっちんこ」  
[ハグハグ・絵本コンシェルジュ]
- 17日(土) 10:30~10:45 児童向け  
[お話しの森・たまてばこ]


町立図書館ここがすごい!

vol.14 LINE を使った情報発信

町立図書館の良さをお伝えします

広川町立図書館では、今年4月からSNSの「LINE」を使った情報発信を行っています。多くの皆さんにご登録いただきましたが、8月から運営開始した町公式LINEに、町立図書館LINEも統合することになりました。

まだ町公式LINEを登録していない人は、下のQRコードからご登録ください。コロナ禍の図書館利用法やイベントなど、図書館からの最新情報を受け取ることができます。



## ■10月の休館日

- 4日(月)・7日(木)・11日(月)・18日(月)・25日(月)
- 毎週(月)・第1(木)が休館、(月)が祝祭日の場合は翌日以降の直近の平日が休館

# よかよかだより

【紙面版】ボランティア出前講座

## ボランティアのいま② 生活支援編

2021年8月号からシリーズで紹介している【紙面版】ボランティア出前講座。今回は、地域でくらしの困りごとを支援する「生活支援のいま」について考えます。

### 変化する私たちのくらし

少子高齢化や核家族化で家族形態やくらし方、仕事や働き方が多様化し、私たちのくらしを取り巻く環境も変化してきました。携帯電話やインターネットなどの普及により、ライフスタイルや利便性が向上する一方、家族機能の変化や地域のつながりの希薄化なども生活課題・地域課題としてあげられるようになりました。

### くらしを支える生活支援

家族機能の変化や地域のつながりの希薄化が進むことで、かつて

家族や地域内で充足されていた子育てや介護といったさまざまなくらしの場面で「困りごと」を抱える人が増えているようです。

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛や、住民同士の交流の機会の減少なども重要な、町内でも「遠方の親族に頼れない」「数か月、誰とも会話をしていない」といった日常のくらしに関する悩みや、頼れる人が近くにいない不安の声をよく耳にするようになりました。

新たなくらし方（生活様式）が問われているいま、住民に寄り添い、くらしの課題を解決するため、広川町でもさまざまな主体による支え合い活動が広がりをみせています。

・住民と福祉団体の協働による買い物送迎

・事業所との協働による移動店舗販売

・住民やボランティア団体によるくらしの困りごと支援

・企業や事業所による生活支援  
・フードバンクによる食料支援  
など

このような取り組みは、直接的にくらしの困りごとを解決するだけでなく、社会的な孤立を防ぎ、多機関連携によるつながりづくりや、地域の担い手不足の解消などにもつながっています。

### お互いさまの地域づくり

くらしの多様化が進むとともに、制度や福祉サービスだけでは対応しがたい、いわゆる「狭間」にあるくらしの困りごとが増えているようです。いま、そのような困りごとに対して「お互いさま」「ほっとけない」「地域のため、人のために何かやりたい」という思いから、さまざまな支え合いが生まれています。それは「助けて」と声をあげることができる「つながり」のある地域づくりそのものではないでしょうか。

### 「くらサポ」サポーター募集中！

ボランティア活動センターでは、

くらしのちょっとした困りごとを支援するサポーター（くらサポ）を募集しています。詳しくは、広川町社会福祉協議会のホームページをご覧ください。直接センターへお問い合わせください。

広川町  
社会福祉協議会  
ホームページ  
QRコード



▲「くらサポ」の様子

ボランティア活動センター

「よかよか」（はなやぎの里2階）

平日8時30分～17時15分

☎ 0943-327073

FAX 0943-327074